

(公社)日本産業退職者協会広島支部

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号 広島市まちづくり市民交流プラザ内 BOX1

日退協ホームページアドレス <https://jariphiroshima.sakura.ne.jp/>

いきいきシニアライフを楽しみ、 社会にお役に立つことも



(公社)日本産業退職者協会
広島支部 支部長

谷口 博

いきいきシニアライフを楽しむ、この素晴らしい会の発展を願い、支部総会に108人の会員と、本部から吉川敏孝理事長と広島支部竹とんぼクラブ設立の支援のため末松孝一常任理事の参加を頂き、支部総会を盛大に開催する事ができました。

コロナ感染症5類引き下げ後のウイズコロナの課題と向き合いながら活動する新しい時代に入りました。総会が始まる前に竹とんぼクラブの準備委員会に、末松常任理事から竹とんぼ作成のデモンストレーションの御支援をいただき、来年に小学生と共に竹とんぼづくりの工作の交流会の企画もあり、楽しみと共に竹とんぼクラブが大きく羽ばたく期待があります。総会でも竹とんぼを飛ばすなど、会員の理解を深めました。

令和4年度は新入会員の加入が70人となり、平成29年度からの減少傾向に歯止めが掛けられました。今年度の重要施策のひとつには、新しく加入いただいた会員に日退協を理解し馴染み喜んでいただくための課題があります。令和3年度、令和4年度の入会会員にはアンケートの実施などを致しますのでご協力をよろしくお願いいたします。

財政的には今年度から厳しくなる事の予想のもとに、皆様から多大のご支援で、99人の方から181万3千円のご寄付を頂き、今年度の財政が安定いたしました。衷心より感謝申し上げます。

新規同好会もトライアル制度(代表試行制度)を使い「だれでもできるパンづくり2」「カラオケ愛好会」が設立され、シニアライフを楽しむアイテム

が増えました。令和5年度には「竹とんぼクラブ」や「劇場映画を楽しむ会」などの開設が予定されています。設立に関わった世話人の皆様の努力に感謝申し上げます。

広報・情宣ではHPの魅力的な画面を目指し、許せる範囲で支部財源から支援をして、HP委員会を中心にプロジェクトを組み実行してまいります。

今年度が会員にとってより豊かに、活気と慈愛に満ちた生活の一助になるよう、楽しみながら運営委員会を中心に努力してまいります。

同好会で、いきいきシニアライフを楽しみ、ボランティア活動で社会にお役に立てる喜びを感じることを持続してまいりましょう。

||||| 広島支部総会に参加して |||||

岩本 忠司



6月6日に、日退協広島支部総会が広島国際ホテルで実施されました。広島支部は令和5年5月末で398人の正会員数ですが、総会出席者は108人、委任状210人で合計318人の参加で総会成立

となりました。

今年の支部総会は、本部の吉川理事長及び竹とんぼ同好会の末松常務理事のご来賓を迎えて盛大に行われました。

谷口支部長を始めとする関係支部役員から、第1号～第7号議案まで、すべての議案が説明され、審議され、参加者の盛大な拍手で承認されました。スムーズな総会となったのは、議長団の進行と、運営委員、事務局員の献身的な事前準備があった為と思われます。

コロナ禍も一段落し、対面での交わりが活性化しつつあります。今後SDGsへの取り組み強化が提案され、ホームページの改善に30万円の予算を計上、「だれでもできるパンづくり2」「カラオケ愛

好会」などの新設が報告されました。さらに「竹とんぼ同好会」や「劇場映画を楽しむ会」なども計画されており、広島支部の取り組みはますます活性化されると思われます。

なお、総会終了後、懇親会が行われ、謡を嗜む会から〈隅田川〉が謡われ、詩吟を楽しむ会から〈船中聞子規〉〈送元二〉〈名槍日本號〉の3曲が披露されました。末松常務理事から竹とんぼ飛行の実演があり会場中が盛り上がりました。今後も会員数の増加を目指し、いつまでも生きがいのある支部活動が継続されることを祈っています。

(運営委員)

「桜の木を育てる会」に参加して

濱田 寛

令和5年4月3日に、4年振りに「桜の木を育てる会」が東区上温品の菰口憩いの森で開催されました。天候にも恵まれ桜もほぼ満開で、参加者47人



が自分の桜の手入れと名札付けを約1時間行いました。その後は昼食です。今年も爛をした竹酒もあり、あちらこちらで親交を深めていました。

恒例のペタンク大会が11チームで開催され、ワイワイガヤガヤと進む中で、何と、パートナーと運に恵まれ、我々のチーム(大野さん、藤岡さん、私)が優勝する事が出来ました。楽しい1日であればあるほど、健康の大切さを改めて感じます。

思い起こせば、前回の開催は令和元年4月1日でしたが、正にこの日に当時の菅官房長官が新元号を「令和」と発表したのです。丁度昼食をしている時であり、皆固唾を吞んで聞いていました。その瞬間の何とも言えない空気は印象に残っています。

「桜の木を育てる会」は広島市のミレニアム事業として平成12年(2000年)から続いている活動です。これからもこの会を継続・発展させられる様出来るだけ多くの参加者で続けていきたいと思っています。皆様の積極的な参加をお待ちしています。

(ボランティア委員会 世話人)

花と緑を楽しむ～園芸盆栽同好会活動25年～

村瀧 价志

日退協広島支部・園芸盆栽同好会は、30年を超える伝統ある同好会です。現在70人余りの会員で園芸講習会、園芸実習会や自然観察会バス旅行等の活



動を行っております。

広島支部に入会すると同時に参加した私の同好会活動歴も足掛け25年を迎えております。この間、沢山の会員の方々、関係先の諸氏に多大な指導、支援を頂きながら楽しく充実した園芸活動を続けて来られたと感謝しています。前期末をもって代表世話人を交代しましたのを機に今後の発展を願って、同会の活動状況を振り返ってみたいと思います。

入会したころの園芸盆栽同好会は、広島市植物公園を主な活動の場として、公園の園芸技師等の指導を受けて、洋ランの育て方や庭木の手入れ法など、「作る」「学ぶ」を重点に集っておりました。又、公園での「サツキ盆栽苗鉢」の植え替えを手伝うボランティア活動等も行おう等、多岐にわたって活動しておりました。

最近では、会員の高齢化、住環境の変化等を受けて、「観賞」を重視した園芸活動に移ってきていると思います。同好会では、集って園芸作品作りを楽しむ、野山に出かけて自然観察を満喫する等を活動の柱に、これからも「花と緑を楽しむ」魅力ある同好会活動を続けていって貰いたいと切に願っています。

(園芸盆栽同好会 世話人)

高齢者と陶芸

福田 政志

4月に草津公民館より陶芸の講師派遣依頼が陶芸クラブ(陶芸同好会A)にあった。依頼元は、広島市西部認知症疾患医療センターで、患者さんのリハビリと趣味の保持を目的に依頼された様だ。

今回の依頼は辞退する事となったが、調べてみると認知症に対する陶芸の効果は大きく、陶芸療法士の資格も存在する様だ。詳細は専門誌に譲るとして、

粘土等を使用してものを作る作業は五感を刺激し対象物を認識する能力を養うとのこと。リハビリとしても脳の活性化や生きる意欲を生むことになるのだろう。

小生が粘土いじりを始めたのは、会津本郷焼の窯元に近い福島県の喜多方市に単身赴任してからである。暇に任せて五十代の数年間、会津若松から窯を移設した先生に手ほどきを受けた。その頃は、成型だけで焼成や釉薬付けもさせてもらえなかった。思い出としては、新しい成型方法を考えて先生に駄目だしされたり、音楽雑誌に載っていた壺型スピーカーの設計図を持ち込んで先生に作ってもらったりと、生徒3人でワイワイと面白く余暇を楽しんでいた。壺型スピーカーは地方紙に載り、記者から取材を受けた先生もまんざらでもなかった様子を今でも覚えて



ている。退職後、東北地方から広島に帰り、仲間を求めて陶芸クラブに六十代後半で行き着き現在に至る。

同好会仲間の作風は高齢者の五感に任せた自由な作りで、認知症とは全く無縁だと感じる。

現在、小生は若き日に出来なかった陶器製スピーカー作りを新たな気持ちで続けたいと考えている。

(陶芸同好会 代表世話人)

Ⅱ 〈グラウンド・ゴルフ大会(女性バラエティと合同)〉を顧みて Ⅱ

梅中 義之

第76回グラウンド・ゴルフを楽しむ会5月例会を、初めての試みで「女性会バラエティ」との合同コンペとして開催しました。新型コロナウイルス感染法上の位置付けが5類に引き下げられ、3年振りにほぼ日常生活に戻りました。やっと屋内外活動を計画通り実施出来る様になりました。

参加者は20人。開催場所は遠方でマイクロバス2台に分乗し、車内はマスク着用等予防対策を心掛けました。広島駅から高速道で1時間半、島根県むいかいち温泉ゆ・ら・ら蔵木GG場で行ない、晴天に恵まれ気分爽快、新緑に囲まれた風光明媚な公認天然芝コースですが、芝目がきつく思う様に打球が飛ばず苦戦しつつも好・珍プレー続出、

各ホールで奇声を上げ歓喜、元気に楽しく3ラウンドプレーする事が出来ました。

プレー後は温泉入浴で疲れを癒し、宴席を囲んで和やかな雰囲気の中で、プレーの反省を忘れず



語り合い親交を図りました。

女性バラエティの方の参加で通常例会に比し、明るく楽しく笑顔でほろ酔い気分、話も弾み大変盛り上がりました。来年度も女性バラエティとの合同コンペ大会開催を誓いました。

健康増進の為、初心者の方でも手軽にプレー出来るスポーツです。気楽に声をかけていただき、入会をお待ちしております。

(グラウンド・ゴルフを楽しむ会 世話人)

Ⅱ だれでもできるパンづくり2 Ⅱ

尾形 雅美

4月より「だれでもできるパンづくり2」を立ち上げました。2としたのは公民館で同じ名前のパンづくり教室に参加しているからです。参加人数をもっと増やして、パンづくりを楽しんでもらいたいと思い2を作りました。

前職で某製パン工場に勤めていましたが、パンづくりの経験はありません。パンが色々な工程を経て焼きあがった後、とてもいい香りがすることを知っていたので、この美味しいパンの香りをみんなに味わって貰いたいと思い、始めました。

公民館ですから実習室を借りられる時間が決まっていますので短時間でパンを作り、発酵時間の間にお菓子を作ります。時間内に出来ないといけなないので、粉類は講師の先生が準備されたものを使います。捏ねるのは当然僕たちです。生地が手にまつわりつき、更に捏ねて油脂類を入れると段々と手から離れて生地の完成に近づきます。ここが一番肝心な工程



となります。この後、一次発酵・分割・丸めるなど順に色々な工程を経て最終工程焼成に入ります。今回のパンは180℃約20分で焼きあがりました。食パンタイプなので型をひっくり返しクーラーの上にパンを出します。パンの香りが実習室に広がります。これがパンづくりの醍醐味です。感想を聞いてみると「グッド!」とのことでした。

(だれでもできるパンづくり2 代表世話人)

カラオケ愛好会がスタート

焼本 武

3年余に亘るコロナ感染が落ち着いてきた5月3日、カラオケ愛好会がスタートしました。

発足にあたり、発起人(梅中義之、中元美智子、大野節子)、運営アドバイザー(新延伸雄)各氏から、会が順調に立ち上がるよう貴重な助言を頂きました。感謝申し上げます。

発足の目的は、会員相互間の交流・健康増進・生き甲斐の創出・日退協新入会員の獲得等です。

グラウンド・ゴルフ・社会見学会・囲碁同好会を中心に予想以上の反響が有り、41人(男性32人・女性9人)のメンバーでスタートする事になりました。

当日の参加者は37人で、ノンアルコール班1室(12人)、アルコール班3室(各8~9人)に分かれ、一人3~5曲、得意な持ち歌を声高らかに、感情豊かに歌い上げました。曲目は、昭和演歌・地元



広島にまつわる演歌・ポップス・フォークソング・洋楽等多岐に亘りました。

マイクを30センチ離し細川たかし並みに歌う人、プロ並みの美声とテクニックで聞く人を酔わす歌等、歌う楽しさと共に聞く楽しさも有りました。

歌い足りない・終了予定時間をオーバーする等不備も有りましたが、会員の皆様が和気藹々と楽しんで頂ける会に改善したいと思います。

私自身、退職後15年間はカラオケとは無縁でしたが、会員の皆様に触発され、低音の魅力を磨きたいと思います。若干名追加募集していますので、世話人宛申し込み下さい。

(カラオケ愛好会 代表世話人)

広報の窓

行事・同好会参加人数 令和5年3月~令和5年6月

()は家族会員再掲

◎総会	108人	(0人)
◎世話人交流会	58人	(0人)
◎幹事会	20人	(0人)
◎新入会員の集い	38人	(0人)
◎運営委員会	59人	(0人)
◎二木会	379人	(10人)
◎ボランティア	47人	(7人)
◎ゴルフ同好会	83人	(3人)
◎テニス同好会	123人	(3人)
◎四風会	16人	(0人)
◎社会見学会	94人	(11人)
◎木楽会	12人	(1人)
◎歴史探訪会	94人	(13人)
◎四季の会	45人	(7人)
◎園芸・盆栽同好会	28人	(0人)
◎囲碁同好会	119人	(0人)
◎写真を楽しむ会	48人	(0人)
◎謡を嗜む会	14人	(0人)
◎がんす川柳会	47人	(4人)
◎山を歩く会	124人	(14人)
◎写画一る会	37人	(2人)
◎男性料理教室	77人	(2人)
◎PCDCを楽しむ会	99人	(0人)
◎陶芸同好会	105人	(0人)
◎詩吟を嗜む会	45人	(3人)
◎卓球クラブ	213人	(27人)
◎女性バラエティ	15人	(5人)
◎Gゴルフを楽しむ会	39人	(10人)
◎エスキーテニス	84人	(0人)
◎演歌ミニ道場	12人	(0人)
◎カラオケ愛好会	78人	(3人)
◎だれでも出来るパンづくり2	30人	(0人)
◎切手収集 累計2986件	◎ベルマーク(インクKJ含む)	609件
◎総会 6月6日	◎世話人交流会 3月16日	
◎幹事会 4月20日	◎新入会員の集い 3月12日	
◎運営委員会 3月2日、4月6日、5月4日、6月1日		

編集後記

先日の二木会で、ある方が断捨離を始めたこと聞き、そこでファイルを貰いました。そろそろ考えなくてはならない年齢に来たのかと思い、家に帰り、何を断捨離するかと考えてみると、読み終わった本や雑誌。昔使っていたビデオ機器・テープ・多分使わないと思うコード類は処分しても良いかなと。置物となってしまった照明器具等々も。しかし、処分となると資源ごみ?メルカリ?でも、今まで楽しんできたものばかり。そう簡単には処分できない。本は今日袋に入れました。ビデオプレーヤーと音楽・映画のビデオなどは機械が動かなくなるまで置いときます。まだ踏ん切りがつかずません。これを断ち切るのが断捨離か。難しい。

(M・O)